自吸ユニット ポンプ　取扱付属説明書

■ 配管設置の注意

1．吸上げ高さは ４m以内としてください、呼び水量は満水検知プラグを抜いて確認ください。

2．吸込管はポンプ吸込口径と同一口径とし、吸込側の横引き配管は２m以内としてください。

3．自吸式ポンプのためフート弁は必要ありません。しかし、運転頻度が多い場合や、自吸時間を短縮したい場合は設置ください。これはポンプ残留水を多く確保するためであり、逆止弁に液漏れが発生しても、弁が開けば自吸作用に問題ありません。

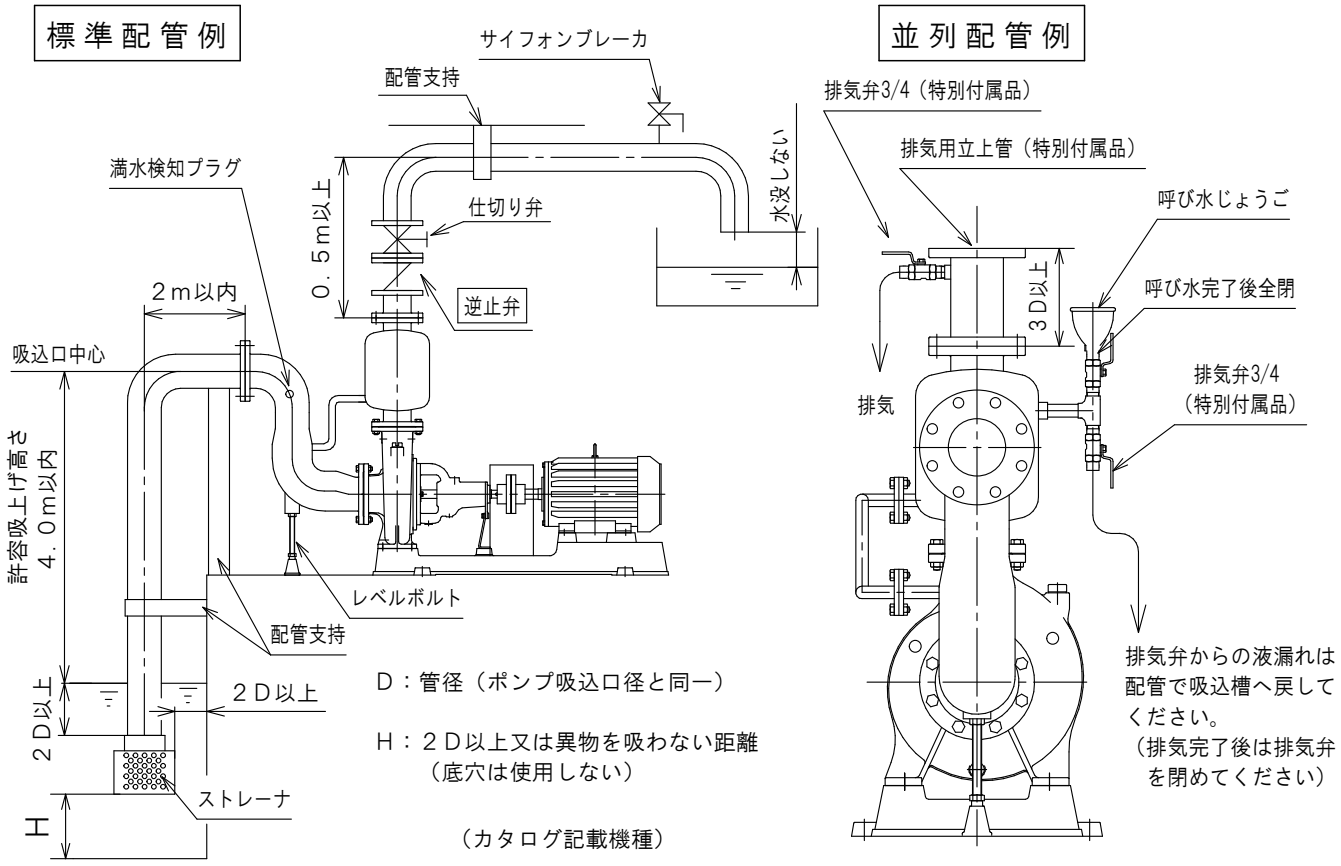
4．ポンプを起動するとポンプ内の液は一旦吐出し側に放出されます。立上げ部がないと、循環水量が不足し自吸能力の低下を招く恐れがあります。
よって、吐出し側に仕切り弁・逆止弁を含めて０．５m以上の立上げ部を設けてください。

5．ポンプ停止時の逆流防止のため吐出し側に逆止弁を設けてください。
（ポンプ逆転防止のため、吐出し管長が長い場合は特にご注意ください。）

6．逆止弁より上方の実揚程が高い場合や並列運転の場合には、排気弁を設けてください。
自吸作用は空気を排出しなければならず、吐出抵抗が大きいとスムーズに排気出来ないからです。（排気用立上管部分の寸法が取れない場合は、じょうご下のエルボから排出ください）

7．グランドパッキン式の場合は、自吸作用中の空気吸込防止のためパッキンの増し締めを行なうか、最初から外部注水式をご計画ください。

8．排水槽に、異物混入の恐れがある場合は、ストレーナを設置ください。

9．吐出し配管が長距離下り勾配ですと、ポンプ停止時にサイフォン現象から再自吸に必要な循環水量が減少しますので、配管途中にサイフォンブレーカを考慮ください。

１０．レベルボルトは自立安定の役目です、配管支持が十分であれば外す事は可能です。